

「SQL プログラミング 入門」学習会報告

実験教育支援センター
基礎教室担当
池田 裕史

目的

SQL (Structured Query Language) を理解することにより、データベースの基礎を理解できるようになることを目的とする。

テキスト

「SQL プログラミング入門」(Softbank Publishing)
「SQL の絵本 データベースがみるみるわかる 9 つの扉」(翔泳社)

開催日・場所

開催日 | 2015 年 9 月 ～ 2016 年 3 月
月 1 回のペースで全 7 回実施
場所 | 23 棟 112 電気系共通実験室
↑ ↓ < skype >
日吉学生部会議室

学習方法

データベースソフトは Microsoft Access を使用した。初回は PC を持ち寄り Microsoft Access の使い方と SQL 文の書き方を実習した。それ以降はテキストに沿って各自が自習し、次回の学習会で疑問、問題、気が付いたことを持ち寄り、参加者同士で問題を解消するというスタイルで行った。

参加者

土屋 明仁 (実験教育支援センター)
茂木 隆太 (実験教育支援センター)
寺田 亮介 (実験教育支援センター)
池田 裕史 (実験教育支援センター)
李 在鉄 (中央試験所)
菅原 直美 (中央試験所)
服部 剛久 (日吉学生部)
山口 恵子 (日吉学生部)

成果

約半年を通してテキストの主要な部分を学習した。個人差はあるが、本学習会を通じて SQL を習得し、データベースの基礎を理解できたのではないかと考える。大学の業務では様々な場面でデータベースを利用することが多いため、その裏でどのようなプログラムが動いているのかを理解することは、今後の実験・研究支援業務に幅広く役立てることができると考える。

感想

土屋 明仁

このような貴重な機会を設けていただき本当にありがとうございました。今までの知識については復習に、知らなかった部分については新たな知識となり、SQL の基本をより深く知ることができました。

寺田 亮介

もともとの参加動機は、HP 作成や管理などの業務に携わっている方もいらっしゃるということで自分もその知識を身につけたいと考えたことでした。しかし、すぐに業務で SQL を扱う予定は今のところありません。ただ、今回得られた基礎知識のおかげで、現在受けている Access 研修の導入はスムーズになりました。そしてゆくゆくは学生情報を管理する際の Access 利用なども通して、今後実務に生きていくのではないかと感じております。

茂木 隆太

SQL については、かつて学習会に参加したことがあったのですが、今回は復習ということで参加いたしました。改めて基礎からやり直したことで、新しい発見や勘違いしていた部分なども発見でき、とても有益な学習会でした。

菅原 直美

SQL 講習を受けようと思ったきっかけは中央試験所内で使用しているファイルメーカーへの応用ができればいいと思ったからでした。ただ、途中で挫折してしまった言い訳は以下の2点です。

- ・宿題でテキストに沿って例題を入力してもうまくいかないときに、access で使えないものなのか、自分のエラーなのかがわからず、なかなか次に進めなかった。

・予習(宿題?)という形で自分で進めていくのは、業務中なかなか時間が取れず厳しかった。時間のなかで完結するような感じだとよかったかなと思います。

李 在鉄

データベースを操作する言語がどういうものなのかというのを、おおむねつかむことができた。実践で役立てる水準にまで到達できなかったが、データベースに興味をおぼえ、身近に感じるきっかけとなったという点において、意義のある講習会だった。

服部 剛久

Access がほぼ全くわからないのでぜひ習いたい、というのが参加の動機です。自習形式での学習の進めかたを小職が事前に確認していなかった為、2 回目以降から入試準備業務にかかりきりとなり、途中で断念してしまいました。勿論、使えるまでには至りませんでしたが、SQL はこのようなもの、との概要は教わることができました。講師役の池田さんには根気強くお誘いいただいたにもかかわらず、大変申し訳ありませんでした。

山口 恵子

業務で使用するアクセスに関連する SQL を学ぶよい機会になりました。全ての回に参加できた訳ではありませんが、勉強会は学習のためのよいきっかけになりました。ありがとうございました。

池田 裕史

SQL 学習会開催の必要性を感じていたので実施できたこと自体は良かったが、学習会の進め方について、一部の参加者の方には合わない形式を取り、申し訳なく思います。もう少し学習内容や方式を練ってから実施できたら良かったと思います。